

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 2 月 2 日(2022.2.2)

【公開番号】特開 2022-17468(P2022-17468A)
 【公開日】令和 4 年 1 月 25 日(2022.1.25)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-013
 【出願番号】特願 2021-179751(P2021-179751)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30(2006.01)

10

【F I】

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 25 日(2022.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長尺位相差フィルムと長尺偏光フィルムとが積層されている長尺円偏光板であって、
 該長尺位相差フィルムのヘイズ値は 0.4% 以下であり、
 該長尺位相差フィルムは、下記式(1)、(2)及び(3)；

$$Re(450)/Re(550) \leq 1.00 \quad (1)$$

$$1.00 \leq Re(650)/Re(550) \quad (2)$$

$$100\text{ nm} < Re(550) < 160\text{ nm} \quad (3)$$

[式中、Re()は波長 nm の光に対する面内位相差値を表す]
 を満たす波長分散特性を有する、長尺円偏光板。

30

【請求項 2】

ヘイズ値が 0.4% 以下であり、かつ、下記式(1)、(2)及び(3)；

$$Re(450)/Re(550) \leq 1.00 \quad (1)$$

$$1.00 \leq Re(650)/Re(550) \quad (2)$$

$$100\text{ nm} < Re(550) < 160\text{ nm} \quad (3)$$

[式中、Re()は波長 nm の光に対する面内位相差値を表す]

を満たす波長分散特性を有する長尺位相差フィルムと長尺偏光フィルムとが積層されてい
 る、長尺円偏光板の製造方法。

40

50